

消防・外郭団体

川越地区消防組合
川越市土地開発公社
公益財団法人 川越市施設管理公社
社会福祉法人 川越市社会福祉協議会
公益社団法人 小江戸川越観光協会
公益社団法人 川越市シルバー人材センター
公益財団法人 川越市勤労者福祉サービスセンター
川越総合卸売市場 株式会社
川越都市開発 株式会社

消防・
外郭団体

川越地区消防組合

本市の消防は、昭和 23 年消防組織法の施行に伴い、同年 3 月 8 日に消防本部及び消防署を設置し、従来の消防団と共に常備、非常備消防の体制により自治体消防として発足した。

昭和 30 年 4 月隣接の 9 ヶ村と合併、首都圏内にあつて、急速な市の発展に伴い、消防の重要性も一層増大し、昭和 34 年には市街地南部に新宿分署、昭和 42 年 3 月には市西部に霞ヶ関分署、さらに昭和 47 年 9 月には市南部の人口急増地域に高階分署を新設し、消防体制の強化を図った。

昭和 48 年 4 月 1 日には隣接の川島町との協議により、川越地区消防組合を設立し、消防本部、消防署並びに川越市川島町両消防団により広域消防業務を開始し、昭和 49 年 1 月 7 日には川島分署を開設した。昭和 54 年 4 月 5 日に市南西部に大東分署を開設し、昭和 61 年 4 月 1 日には市東部地区に東分署を開設した。平成 3 年 4 月 1 日に川島分署を川島消防署、平成 5 年 4 月 1 日に霞ヶ関分署を川越西消防署にし、平成 16 年 4 月 1 日には、市北西部に名細分署を開設した。平成 17 年 4 月 1 日に川越消防署を川越北消防署、東分署を南古谷分署、新宿分署を川越中央消防署にし、4 署 4 分署体制となり、多様化する都市災害に対処するとともに、消防に対する理解と協力を得ながら、37 万余の市町民の生命、身体、財産の保護に万全を期している。

I 予算・職員・施設

1 川越市・川島町予算（一般会計）消防組合予算（当初）

区分 年度	川越市予算 (千円)	川島町予算 (千円)	合 計 (千円)	消防組合 予 算 (千円)	市町予算合計 額に対する組 合予算の割合	住民 1 人当 たりの組合予算 (円)	消防職員 1 人 当たりの常備 消防予算(円)
令和 4 年度	116,720,000	7,513,000	124,233,000	5,523,176	4.4%	14,840	11,649,300
令和 5 年度	121,000,000	7,750,000	128,750,000	5,924,674	4.6%	15,922	12,313,006
令和 6 年度	128,350,000	8,877,000	137,227,000	9,573,691	7.0%	25,762	20,768,793

2 消防吏員、消防車等の人口、世帯、面積の割合

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

区 分	人 口	世 帯 数	面 積 (km ²)	現 有 数
消防吏員 1 人当たり	858	408	0.35	433 人
消防ポンプ車 1 台当たり	20,646	9,808	8.38	18 台
救急車 1 台当たり	28,586	13,581	11.60	13 台
1 署 当 た り	46,453	22,069	18.85	8 署

※ 定数外の職員を含む。

※ 暫定再任用職員及び会計年度任用職員を含まない。

※ 消防ポンプ自動車は、消防ポンプ自動車、化学車及び非常用消防自動車が該当する。

3 基準消防力と現有消防力との比較

(令和6年4月1日現在)

区 分	基準消防力(署)	現有消防力(署)	充足率(%)
署所の数	10	8	80

区 分	基準台数	現有台数	充足率%	基準人員	現有人員	充足率%
消防ポンプ自動車	15	13	87	411	320	78
梯子車	3	4	133			
化学車	3	3	100			
救急車	11	9	82			
救助工作車	3	3	100			
指揮車	2	1	50			
特殊車両等	8	8	100			
非常用消防自動車	2	2	100			
非常用救急車	2	4	200			
通信員	—	—	—	18	16	89
予防要員	—	—	—	67(15)	55(15)	82
庶務処理等の人員	—	—	—	66	67	102
合計	—	—	—	547	443	81

※ 表中の数値は、消防力の整備指針が定める基準により算出している。

※ () は、交代制勤務の職員による兼務要員の数を内書きしたもので、合計に重複計上していない。

※ 現有人員は、暫定再任用職員及び会計年度任用職員を含む。

4 職員の配置状況

(令和6年4月1日現在)

署 別	合計	消 防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	その他
消 防 局	89(4)	1	3	11	19	39	8(4)	3	4	1
川越北消防署	46(2)	0	1	3	8	12	7(2)	6	9	0
南古谷分署	33	0	0	1	4	12	9	3	4	0
川越中央消防署	70(2)	0	1	2	7	24	13(2)	13	10	0
高 階 分 署	33	0	0	1	4	16	3	3	6	0
大 東 分 署	33	0	0	1	4	14	1	6	7	0
川越西消防署	42(1)	0	1	2	5	16	4(1)	5	9	0
名 細 分 署	45	0	0	1	4	19	7	5	9	0
川 島 消 防 署	43(1)	0	1	2	6	16	8(1)	4	6	0
合 計	434(10)	1	7	24	61	168	60(10)	48	64	1

※ () は、再任用短時間勤務職員の数を外書きしている。

※ 定数外の職員を含む。

※ 会計年度任用職員を含まない。

5 消防自動車の配置状況

(令和6年4月1日現在)

署 別	合 計	水槽付 ポンプ 車	ポンプ 車	はしご 車	化学車	水槽車	高規格 救急車	指令車	連絡車	広報車	警防車	救 助 工作車	調査車	その他
消 防 局	12	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	1	2
川越北消防署	10	0	1	1	1	0	2	0	2	1	1	0	0	1
南古谷分署	6	1	1	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0
川越中央消防署	11	0	2	1	1	0	2	0	2	1	1	1	0	0
高 階 分 署	5	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
大 東 分 署	5	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0
川越西消防署	8	1	2	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0
名 細 分 署	8	1	1	0	0	0	2	0	0	1	1	1	0	1
川島消防署	8	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	1
合 計	73	5	10	4	3	1	13	3	12	8	5	3	1	5

6 消防庁舎の現況

(令和6年4月1日現在)

所在地等 署別	所 在 地	建築年月日	構 造	面 積(m ²)		
				敷地面積	建物面積	延面積
消 防 局 ・ 川越北消防署	神明町 48 番地 4	昭和49年11月21日 増築平成4年10月5日	鉄筋コンクリート造3階建	4,103.26	1,029.86	2,237.66
南 古 谷 分 署	大字久下戸3528番地1	昭和61年6月25日	鉄筋コンクリート造2階建一部 鉄骨造平屋建	2,432.00	367.02	451.08
川越中央消防署	新宿町2丁目14番地7	平成10年11月13日	鉄筋コンクリート造3階建	3,097.26	918.15	1,772.93
高 階 分 署	大字砂新田16番地3	昭和47年8月30日	鉄筋コンクリート造3階建	1,755.72	409.01	1,038.13
大 東 分 署	南大塚1丁目1番地9	昭和54年3月15日 増築平成30年3月28日	鉄筋コンクリート造一部 鉄骨造平屋建	1,578.08	447.39	441.55
川越西消防署	伊勢原町5丁目3番地	平成6年3月31日	鉄筋コンクリート造3階建	1,598.72	528.00	1,490.08
名 細 分 署	大字鯨井589番地1	平成16年3月31日	鉄筋コンクリート造2階建	3,535.00	1,053.16	1,498.66
川 島 消 防 署	川島町大字平沼888番地	平成5年7月12日	鉄筋コンクリート造2階建	5,135.53	715.27	1,136.02

7 非常備消防（川越市消防団）

（令和6年4月1日現在）

分団名	所在地	構造	延面積 (㎡)	建築年月日
第一分団	小仙波町1丁目2番地15	鉄筋コンクリート造2階建	91.80	平成7年3月31日
第二分団	三光町2番地8	鉄筋コンクリート造2階建	109.78	平成11年3月15日
第三分団	野田町1丁目3番地8	鉄骨造2階建	104.52	平成3年3月30日
芳野分団	大字鴨田9番地1	鉄骨造平屋建	104.00	平成17年3月25日
古谷分団	大字古谷上3831番地1	鉄筋コンクリート造一部木造2階建	99.40	平成7年3月31日
南古谷分団	大字今泉307番地2	木造平屋建	103.10	平成19年3月1日
高階分団	大字藤間346番地1	鉄骨造2階建	112.00	平成16年2月20日
福原分団	大字今福1785番地5	鉄筋コンクリート造2階建	99.22	平成25年3月14日
大東分団	南大塚1丁目14番地20	鉄筋コンクリート造2階建	99.22	令和6年2月27日
山田分団	大字山田167番地	鉄骨造2階建	112.00	平成15年3月14日
名細分団	大字小堤644番地3	鉄骨造平屋建	100.00	平成20年3月26日
霞ヶ関分団	大字笠幡2365番地1	鉄骨造平屋建	100.00	平成18年3月28日

8 消防団員(実員数)及びポンプ自動車の配置状況（川越市消防団）

（令和6年4月1日現在）

階級分団別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計	ポンプ自動車
団本部	1	4	1	1	1	2	13	23	0
第一分団	0	0	1	1	1	2	13	18	1
第二分団	0	0	1	1	1	2	17	22	1
第三分団	0	0	1	1	1	2	19	24	1
芳野分団	0	0	1	1	1	2	19	24	1
古谷分団	0	0	1	1	1	2	17	22	1
南古谷分団	0	0	1	1	1	2	15	20	1
高階分団	0	0	1	1	1	2	10	15	1
福原分団	0	0	1	1	1	2	9	14	1
大東分団	0	0	1	1	1	2	14	19	1
山田分団	0	0	1	1	1	2	15	20	1
名細分団	0	0	1	1	1	2	12	17	1
霞ヶ関分団	0	0	1	1	1	2	9	14	1
合計	1	4	13	13	13	26	182	252	12

9 消防団員の報酬（川越市消防団）

（令和6年4月1日現在）

内訳	階級別	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年支給額（円）		206,000	174,000	151,000	123,000	107,000	89,000	69,000

※ 機関係員には、年額11,000円の報酬を加給する。

10 消防水利の状況

（令和6年4月1日現在）

市 町 別	地区名	消火栓	防 火 水 そ う												プー ル 池 等
			20 m ³ 未満			20 m ³ 以上 40 m ³ 未満			40 m ³ 以上			計			
			公設	私設	合計	公設	私設	合計	公設	私設	合計	公設	私設	合計	
川 越 市	市街地北部	878	18	0	18	28	5	33	48	157	205	94	162	256	10
	市街地南部	500	3	0	3	29	5	34	33	96	129	65	101	166	6
	芳野地区	304	2	0	2	30	0	30	38	29	67	70	29	99	2
	古谷地区	260	6	1	7	34	1	35	10	22	32	50	24	74	3
	南古谷地区	393	0	0	0	32	1	33	24	47	71	56	48	104	5
	高階地区	504	7	0	7	53	7	60	29	36	65	89	43	132	10
	福原地区	437	8	0	8	53	4	57	43	67	110	104	71	175	10
	大東地区	642	6	0	6	59	4	63	50	93	143	115	97	212	10
	山田地区	243	0	0	0	18	2	20	14	27	41	32	29	61	1
	名細地区	557	0	0	0	62	7	69	52	57	109	114	64	178	12
	霞ヶ関地区	906	8	0	8	54	1	55	100	72	172	162	73	235	13
計	5,624	58	1	59	452	37	489	441	703	1,144	951	741	1,692	82	
川 島 町	中山地区	149	0	0	0	11	5	16	20	81	101	31	86	117	2
	伊草地区	96	0	0	0	13	3	16	19	16	35	32	19	51	2
	三保谷地区	74	0	0	0	3	0	3	5	10	15	8	10	18	2
	出丸地区	57	0	0	0	3	0	3	3	7	10	6	7	13	0
	八ッ保地区	74	0	0	0	1	1	2	3	12	15	4	13	17	1
	小見野地区	53	0	0	0	9	0	9	4	3	7	13	3	16	0
	計	503	0	0	0	40	9	49	54	129	183	94	138	232	7
合 計	6,127	58	1	59	492	46	538	495	832	1,327	1,045	879	1,924	89	

Ⅱ 救 急

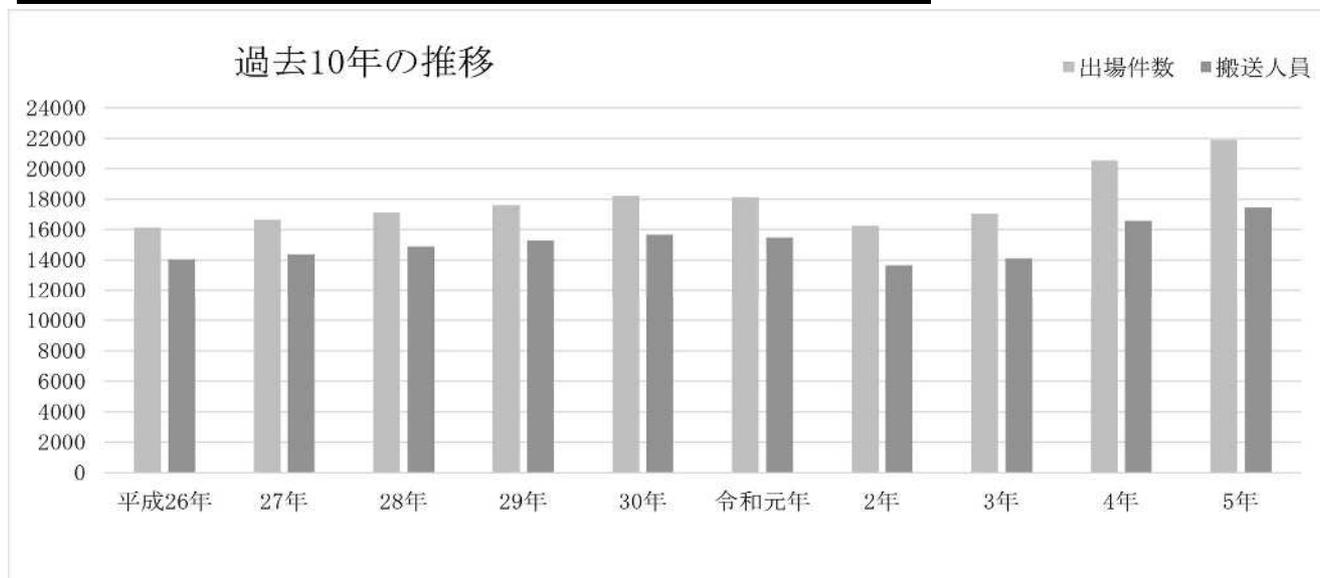
1 救急活動の状況

(令和5年中)

月別	事故種別 出場搬送	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合計	出 場 件 数	21,913	78	0	4	1,348	211	166	2,976	100	217	15,234	1,579
	搬 送 人 員	17,448	7	0	0	1,205	199	157	2,564	52	127	11,697	1,440
1	出 場 件 数	1,891	6	0	0	99	15	5	261	13	13	1,340	139
	搬 送 人 員	1,433	0	0	0	92	14	5	228	8	7	950	129
2	出 場 件 数	1,516	5	0	0	106	18	11	218	4	16	1,026	112
	搬 送 人 員	1,213	0	0	0	96	18	11	190	1	7	792	98
3	出 場 件 数	1,593	8	0	0	128	8	11	226	5	18	1,061	128
	搬 送 人 員	1,284	0	0	0	107	7	10	199	1	12	829	119
4	出 場 件 数	1,655	5	0	0	128	12	11	248	4	31	1,076	140
	搬 送 人 員	1,356	0	0	0	114	12	10	204	2	17	868	129
5	出 場 件 数	1,683	8	0	1	111	17	10	233	8	21	1,140	134
	搬 送 人 員	1,375	0	0	0	101	16	10	203	3	13	906	123
6	出 場 件 数	1,803	9	0	0	99	17	19	241	8	19	1,248	143
	搬 送 人 員	1,445	1	0	0	93	16	20	211	7	9	954	134
7	出 場 件 数	2,210	5	0	1	118	22	21	234	12	25	1,645	127
	搬 送 人 員	1,782	1	0	0	107	19	18	209	5	14	1,294	115
8	出 場 件 数	2,116	9	0	0	102	26	14	251	8	10	1,559	137
	搬 送 人 員	1,622	1	0	0	87	25	13	207	2	5	1,156	126
9	出 場 件 数	1,870	2	0	1	114	17	21	232	9	18	1,336	120
	搬 送 人 員	1,448	0	0	0	98	16	20	204	7	13	988	102
10	出 場 件 数	1,873	7	0	0	109	28	15	279	12	17	1,265	141
	搬 送 人 員	1,504	2	0	0	97	27	13	233	5	10	991	126
11	出 場 件 数	1,791	5	0	1	105	15	15	279	7	14	1,216	134
	搬 送 人 員	1,439	0	0	0	94	14	14	241	5	10	940	121
12	出 場 件 数	1,912	9	0	0	129	16	13	274	10	15	1,322	124
	搬 送 人 員	1,547	2	0	0	119	15	13	235	6	10	1,029	118

2 救急活動の推移

	令和3年中	令和4年中	令和5年中
出場件数	17,043	20,522	21,913
搬送人員	14,115	16,562	17,448



3 1日平均救急出場件数

	令和3年中	令和4年中	令和5年中
1日平均出場件数	46.7	56.2	60.0



Ⅲ 火 災

1 火災の概況

区分 年次	火災 件数	火災種別 (件)						焼損棟数 (棟)					り災世帯数 (世帯)				り災人員 (人) 計
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	全 損	半 損	小 損	計	
令和3年	84	50	0	11	0	0	23	18	2	22	26	68	11	1	33	45	97
令和4年	99	57	0	12	0	0	30	10	0	35	33	78	11	1	49	61	133
令和5年	97	46	0	10	0	0	41	12	3	26	32	73	9	4	39	52	105

区分 年次	死傷者 (人)		焼損面積			損害見積額 (千円)							
	死 者	負 傷 者	焼 損 床面積 (㎡)	焼 損 表面積 (㎡)	林 野 (a)	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	計	
令和3年	3	6	1,875	140	0	176,668	0	4,517	0	0	2,686	183,871	
令和4年	11	10	919	659	0	69,588	0	5,609	0	0	1,499	76,696	
令和5年	6	8	4,439	1,493	0	2,019,659	0	7,886	0	0	2,601	2,030,146	

2 地区別火災の概況

(令和5年中)

区分	地区別	合	本	芳	古	南	高	福	大	山	名	霞	川
		計	庁 管内	野	谷	古 谷	階	原	東	田	細	関	島
合	計	97	29	4	3	9	8	8	6	1	5	7	17
火 災 種 別 (件)	建 物 火 災	46	16	2	2	2	6	4	0	1	2	5	6
	林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車 両 火 災	10	2	0	0	1	1	3	1	0	0	0	2
	船 舶 火 災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	航 空 機 火 災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 火 災	41	11	2	1	6	1	1	5	0	3	2	9

3 月別火災の概況

(令和5年中)

区分 月別	火災件数 (件)	火 災 種 別 (件)						焼損面積 (㎡)		死傷者数 (人)	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	建物床面積	建物表面積	死 者	負傷者
1月	6	3	0	1	0	0	2	356	49	1	0
2月	9	1	0	1	0	0	7	0	2	0	0
3月	9	3	0	0	0	0	6	160	35	0	0
4月	7	3	0	1	0	0	3	923	162	3	0
5月	10	5	0	2	0	0	3	43	8	0	1
6月	9	6	0	0	0	0	3	329	310	0	1
7月	8	5	0	2	0	0	1	10	0	0	1
8月	8	6	0	1	0	0	1	2,600	908	2	1
9月	5	2	0	0	0	0	3	0	6	0	0
10月	10	6	0	0	0	0	4	1	2	0	2
11月	3	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0
12月	13	5	0	1	0	0	7	17	11	0	2
合計	97	46	0	10	0	0	41	4,439	1,493	6	8

4 出火原因別火災件数

(令和5年中)

原因別	地区別	合 計	本 庁 管 内	芳 野	古 谷	南 古 谷	高 階	福 原	大 東	山 田	名 細	霞 ヶ 関	川 島
たばこ		17	9	0	1	1	2	0	0	0	1	2	1
こんろ		7	1	0	1	1	1	0	0	1	0	1	1
かまど		1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
風呂かまど		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
炉		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却炉		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ストーブ		2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
こたつ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボイラー		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
煙突・煙道		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
排気管		4	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1
電気機器		4	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1
電気装置		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電灯・電話等の配線		5	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1
内燃機関		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
配線器具		4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
火あそび		3	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
マッチ・ライター		1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
たき火		17	3	1	0	3	0	0	1	0	2	0	7
溶接機・切断機		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
灯火		2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
衝突の火花		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
取灰		1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
火入れ		2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
放火		9	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2
放火の疑い		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		13	3	1	0	0	2	2	1	0	0	2	2
不明・調査中		2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合計		97	29	4	3	9	8	8	6	1	5	7	17

川越市土地開発公社

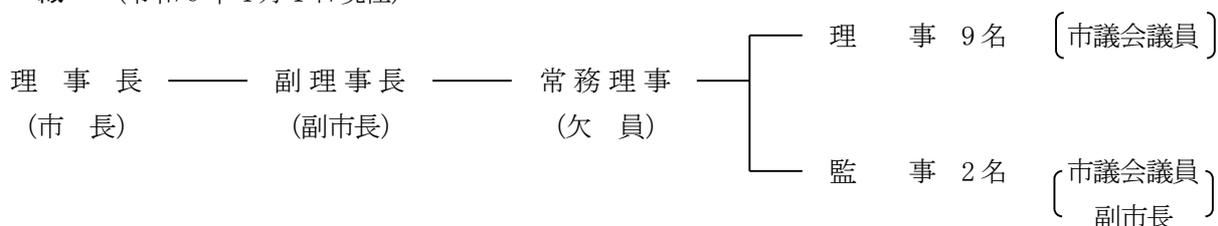
川越市土地開発公社は、その前身として昭和37年6月28日民法第34条による法人として設立された「財団法人川越市開発公社」を公有地の拡大の推進に関する法律の制定に伴い同法附則第2条により、昭和49年8月31日組織変更したものであり、特定の行政目的のために設立された、公法上の法人「公法人」である。また、一般に特別法人といわれている。

土地開発公社の目的及び事業内容としては、「公有地の拡大の推進に関する法律」第17条に掲げる公共用地、公用地の取得、管理及び処分を行うことにあり、主に市の依頼に基づく公共用地等の先行取得等の事業を推進することにより、地域の秩序ある整備と市民福祉の増進に寄与しているところである。

理事会は年間2回程度開催され、令和5年度には6議案が承認されている。

事務局においては、市の関係各課から依頼のあった用地について、交渉、契約、登記、金融機関からの資金調達、代金支払までの一連の事務及び関係諸官庁への事務手続等の一切の事務事業を行っている。なお、事務局職員は、市財政部長を事務局長として、管財課の職員が兼務している。

組 織 (令和6年4月1日現在)



1 令和5年度事業実績

公共用地取得事業

事業区分	取得面積 (㎡)	取得金額 (千円)
用地取得事業	2,617.73	55,092

公共用地処分事業

事業区分	処分面積 (㎡)	処分金額 (千円)
用地処分事業	12,313.95	1,469,235

2 令和6年度事業計画

公共用地取得事業

事業区分	取得面積 (㎡)	取得金額 (千円)
用地取得事業	103.60	142,542

公共用地処分事業

事業区分	処分面積 (㎡)	処分金額 (千円)
用地処分事業	16,618.54	1,088,110

公益財団法人 川越市施設管理公社

1 組織概要

(令和6年4月1日現在)

名 称	公益財団法人 川越市施設管理公社
所 在 地	郭町1丁目18番地7
設 立 年 月 日	平成2年5月1日
目 的	地域のコミュニティの育成並びに文化及びスポーツの振興を図るとともに、川越市の設置する施設の管理運営を受託し、有効かつ効率的な管理運営に務め、もって市民サービスの向上と住民福祉の増進に寄与する。
業 務 内 容	①地域のコミュニティの育成に関する事業 ②文化及びスポーツの振興に関する事業 ③川越市内の公共施設の管理運営に関する受託事業 ④その他公社の目的を達成するために必要な事業
運 営 方 針	柔軟な発想をもって行政の枠を越えた市民サービスに努める。
役 員	理事長1、理事6 監事2（民間2）、評議員9（市部長2、民間7）
職 員	事務局長1、職員26、臨時職員44
資 産	基本財産 1億円

2 令和5年度事業実績

川越市内の公共施設の管理運営に関する指定管理事業

- ①川越市やまぶき会館管理・運営事業
- ②川越西文化会館管理・運営事業
- ③川越南文化会館管理・運営事業
- ④川越運動公園陸上競技場等管理・運営事業
(総合体育館・陸上競技場・テニスコート)

受託事業

- ①川越市斎場及び川越市民聖苑やすらぎのさと
式場貸出等業務
- ②児童センターこどもの城児童厚生業務
- ③川越駅東口児童館児童厚生業務
- ④川越市文化芸術スポーツ振興基金活用事業
 - ・子どもの文化芸術体験事業～アウトリーチ～
 - ・川越市人材発掘公開オーディション

自主事業

①地域のコミュニティの育成に関する事業

- ・文化講座事業（7講座実施）
- ・アーティストバンク支援紹介事業
- ・インターンシップ
- ・キャリア教育
- ・ふれあいコンサート
- ・ロビーコンサート
- ・気軽にミュージック
- ・避難訓練コンサート
- ・KFP文化サポーターズ

②文化及びスポーツの振興に関する事業

○文化

- ・荒馬座公演
- ・森は生きている公演
- ・2024 ニューイヤー ガラコンサート in 川越
- ・やまぶき寄席
- ・メルト写真家講演会・写真展
- ・メルトコンサート「村治佳織ギター・リサイタル」
- ・メルト寄席「桂宮治 独演会」
- ・ジョイフル寄席 「林家けい木のらくご会」
- ・ジョイフル寄席 「落語者達 (らくもんず)」
- ・ジョイフルコンサート 「辛島美登里 Talk and Live 2023」
- ・ジョイフルおんがく発表会
- ・体験事業 (16 事業実施)

○スポーツ

- ・ダンス教室
- ・いきいき体操教室 1
- ・いきいき体操教室 2
- ・女性健康体操教室
- ・ソフトエアロビクス教室
- ・ヨガ教室
- ・ピラティス教室
- ・大宮アルディージャサッカー教室
- ・初心者体操教室 1(器械体操)
- ・初心者体操教室 2(新体操)
- ・かけっこ教室
- ・紙飛行機教室
- ・ランニング教室
- ・テーピング教室
- ・スポーツウエルネス吹矢教室
- ・さかあがり教室
- ・高血圧予防講座
- ・小江戸川越トライアルミート
- ・第 55 回川越市武道大会
- ・高円宮杯 JFA U-18 サッカープレミアリーグ 2023
- ・埼玉BB ドリームカップ 2023
- ・フットボールエキシビジョンマッチ
- ・川越市民ゴルフ大会
- ・川越ドッジボールフェスティバル
- ・第 19 回小江戸川越籠球祭
- ・川越市民駅伝競走大会
- ・小江戸川越トラックフェスティバル
- ・陸上競技交流記録会
- ・スポーツ講演会
- ・テニスボール寄付事業
- ・卓球広場
- ・陸上競技場インリーチ事業

3 令和 6 年度事業計画

川越市の設置する施設の管理運営に関する指定管理事業

- ①川越市やまぶき会館管理・運営事業
- ②川越西文化会館管理・運営事業
- ③川越南文化会館管理・運営事業
- ④川越運動公園陸上競技場等管理・運営事業
(総合体育館・陸上競技場・テニスコート)

受託事業

- ①川越市斎場及び川越市民聖苑やすらぎのさと
式場貸出等業務
- ②児童センターこどもの城児童厚生業務
- ③川越駅東口児童館児童厚生業務
- ④川越市文化芸術スポーツ振興基金活用事業
 - ・子どもの文化芸術体験事業～アウトリーチ～
 - ・コンサート事業

自主事業

①地域のコミュニティの育成に関する事業

- ・文化講座事業
- ・アーティストバンク支援紹介事業
- ・インターンシップ
- ・キャリア教育
- ・近隣高校写真部写真展
- ・ロビーコンサート
- ・ふれあいコンサート
- ・気軽にミュージック
- ・避難訓練コンサート
- ・KFP サポーターズ
- ・ジュニアオーケストラ設立準備
- ・資源回収

②文化及びスポーツの振興に関する事業

○文化

- ・寄席
- ・ガラコンサート
- ・ミュージカル「白雪姫」
- ・荒馬座公演
- ・森は生きている公演
- ・音楽の絵本～笑福来福～
- ・秋川雅史コンサート
- ・内田貴光イリュージョンマジックショー
- ・メルトコンサート
- ・メルト写真家講演会・写真展
- ・ジョイフルコンサート
- ・ジョイフルおんがく発表会
- ・MEET THE MUSIC
～アーティストが学校にやってくる！
- ・MEET THE DANCE
～アーティストが学校にやってくる！
- ・文化体験事業

○スポーツ

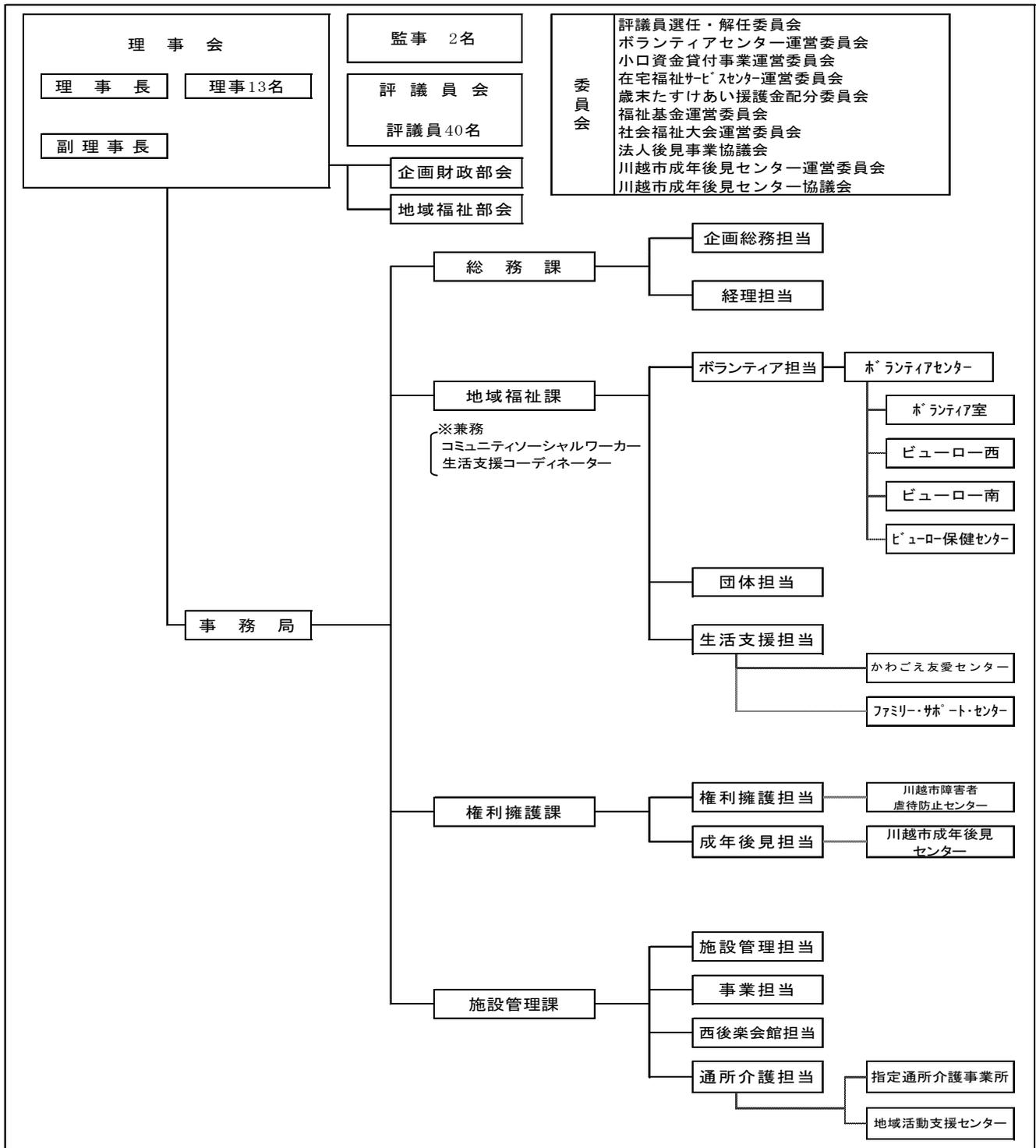
- ・ダンス教室
- ・いきいき体操教室1
- ・いきいき体操教室2
- ・女性健康体操教室
- ・ソフトエアロビクス教室
- ・ピラティス教室
- ・ヨガ教室
- ・初心者体操教室1・器械体操
- ・初心者体操教室2・新体操
- ・逆上がり教室
- ・紙飛行機教室
- ・スポーツウエルネス吹矢教室
- ・健康講座
- ・テーピング講座
- ・ランニング教室
- ・かけっこ教室
- ・スペシャルエディケーションサッカースクール
- ・大宮アルディージャサッカー教室
- ・インリーチ（スポーツ体験）
- ・アウトリーチ（ソフトテニス体験）
- ・川越ドッジボールフェスティバル
- ・小江戸川越籠球祭
- ・川越市武道大会
- ・小江戸川越トライアルミート
- ・小江戸川越トラックフェスティバル
- ・川越市民駅伝競走大会
- ・陸上競技交流記録会
- ・川越市民ゴルフ大会
- ・「鑑賞型」WEリーグ エキシビジョンマッチ
- ・「鑑賞型」サッカープレミアムリーグ
- ・スポーツ講演会
- ・卓球広場
- ・テニスボール寄付事業

社会福祉法人 川越市社会福祉協議会

社会福祉協議会（社協）は、福祉の対象となる人々の福祉問題を解決するため関係する機関・団体・施設及び地域の人々と協力し合って、具体的解決に向けて取り組む福祉活動の推進を積極的に図り、住民参加による「福祉のまちづくり」を進める、公共性と自主性を有する民間組織である。

特に、平成12年度に行われた社会福祉法の改正により、地域福祉の推進を図るため、社協自ら社会福祉を目的とする事業を企画・実施していくことになった。

1 組織



2 自主事業

事業名	事業内容	令和5年度
1. 社会福祉大会	市民参加による福祉の心豊かな地域社会の実現を目的とし、社会福祉の推進に貢献された方々を表彰する。	大会会長表彰・感謝 122人・25団体
2. 福祉の市	高齢者や障害のある方の製作品の展示会を開催することにより、これらの方々の作品の制作意欲と生きがいを高め、社会参加の場を拡大するとともに、住民の地域福祉に対する意識の啓発をすることを目的として、平成2年から実施している。	参加団体 36団体
3. 在宅高齢者等給食サービス事業（ふれあい型食事サービス）	在宅の一人暮らし高齢者等に給食サービスを実施することにより、食生活の改善を通じてその健康保持を図り、在宅での生活を支援し、住みよい福祉のまちづくりを築くことを目的とし、地区社協に助成を行う。	16地区 対象者 1,477人 延 15,994食
4. 友愛訪問事業	地域の中で孤立しがちな高齢者や障害者に対して、ボランティアや近隣住民が訪問活動を行い、温かい人間関係を築き、共に生きるコミュニティづくりを行う。	21地区 1地区あたり 年間60,000円 補助金交付
5. 世代間交流事業	人間関係が希薄になりがちな地域住民が、世代間交流を通してお互いにくれあうことで理解と思いやりの心を醸成し、住みよい福祉まちづくりを目的とし、地区社協に助成を行う。	16地区 延 11,591人参加
6. 地区社会福祉協議会プラン事業	地区社協が自主的に取り組む地域に密着したふれあい助け合いの活動の地区社協に助成を行う。	13地区 延 15,545人参加
7. 福祉協力員等事業	福祉協力員及びボランティアの育成を行うとともに、福祉協力員を登録し、日常的な見守り活動と地域福祉支援体制づくりを推進していくため、地区社協に助成を行う。	6地区 福祉協力員人数 408人
8. 一人暮らし高齢者集い事業	一人暮らし高齢者と地域住民が一堂に会し、日常生活や健康問題などを気軽に話し合い、温かな人間関係とふれあいの機会をつくることを目的とし、地区社協に助成を行う。	17地区 延 1,988人参加
9. 地区別福祉懇談会	地区社協を中心に自治会をはじめ、各種団体、住民などにより、“共に生きる地域社会づくり”を目指して福祉懇談会の開催に助成を行う。	10地区 10会場 382人参加
10. 緊急連絡カード事業	一人暮らし高齢者等が緊急事態の場合、民生委員が迅速に近親者と連絡がとれるように緊急連絡カードを配布する。また、これによって一人暮らし高齢者等に対する友愛訪問事業への展開を図る。	22地区 5,900人登録
11. 歳末たすけあい援護事業	低所得世帯、重度要介護高齢者、重度障害児者、市内民間社会福祉施設に対して地域歳末たすけあい募金配分金により見舞い激励を実施する。	歳末たすけあい 援護金 2,669件
12. 在宅介護者リフレッシュ事業	在宅介護者の支援と充実を図るため、在宅介護者の集い等を開催する。	参加人数 16人
13. 親子リフレッシュ	子育てが家庭に向けた、子育てに関する講演会や親子で楽しめるイベントを開催することで、子育てが家庭の悩みの解消や親子のつながりを深めるとともに、同世代の家庭が交流を図ることで、地域のつながりを作る機会とする。	参加人数 約 300人
14. 心配ごと相談所	広く市民生活のあらゆる相談に応じ、適切な助言・援助を行う。	相談員 相談件数 3人 72件

事業名	事業内容	令和5年度		
15. 福祉団体事務局	民生委員児童委員協議会連合会、障害者団体連絡協議会、身体障害者福祉会連合会、老人クラブ連合会、遺族会、在宅介護者友の会、ボランティア連絡会などの事務補助を行う。	—		
16. 各種資金の貸付	福祉資金＝低所得世帯の生活の安定を図るための資金の貸付 安定資金＝生活保護世帯に対する生計のつなぎ資金の貸付	0件 419件	0円 9,391,000円	
17. ボランティアの養成	ボランティア養成のための各種講座等の実施 (1) 市内学校等対象福祉体験実技 (2) 市内学校等対象福祉講話 (3) ボランティア体験プログラム (4) 傾聴ボランティア養成講座 (5) 点字ボランティア養成講座 (6) ボランティア入門講座	学校対象 学校対象 124名 25名 12名 8名	延 延 延 延 延 延	4,700人 1,574人 144人 145人 116人 8人
18. ボランティアグループの育成	ボランティアグループを対象に、情報交換会及び研修会を開催するとともに、各グループに活動費の助成を行う。	登録 補助対象	163団体 27団体	
19. ボランティア活動保険の加入推進	ボランティア活動中の事故に備え、保険への加入促進を図る。	加入者	3,366人	
20. ボランティア体験学習機器貸出	ボランティア活動促進を図るため、福祉DVD、車椅子等の機器を貸出しする。	83件		
21. ボランティアビューローの運営	ボランティア活動の拠点として、総合福祉センター内にボランティア室並びに南文化会館、西文化会館及び総合保健センター内にボランティアビューローを開設し、ボランティアの発掘、登録、斡旋等を、アドバイザーを配置して実施する。	ボランティア アドバイザー	20人	
22. 在宅障害児招待事業	ボランティアの協力を得て、心身に障害のある18歳未満の児童とその家族を招待し、家族間の交流を深める。	参加世帯	103世帯	
23. 在宅福祉サービス事業「かわごえ友愛センター」	自主的なボランティア意識を基盤とした会員制、有償・有料制を特色とした在宅福祉サービスで、高齢者や障害者などの家庭へ協力会員を派遣して、日常的な自立への援助を行う。	登録者 利用会員 協力会員 派遣件数	384人 215人 4,361件	
24. 福祉車両等の貸出サービス	けがや病気等で短期に在宅で車椅子が必要になった場合に車椅子を、また常時車椅子を使用している方が外出するための交通手段として福祉車両（スロープ式軽自動車）をそれぞれ貸出している。	車椅子 福祉車両	180件 44件	181台 44台
25. 戦没者追悼支援事業	春季追悼式＝全市合同、献花による追悼式 秋季追悼式＝市役所本庁管内11の地区は合同、出張所管内は地区ごとに実施	2,440柱		
26. 法人後見事業	川越市内に暮らす高齢者や障害者等判断能力が不十分な方で、適切な成年後見人等がない方に対して、日常生活で必要となる法律行為を適切に処理するための成年後見事務を行う事業である。家庭裁判所からの選任を受け、川越市社会福祉協議会が成年後見人、保佐人等の業務を行っている。	後見類型 保佐類型 後見監督 保佐監督	13件 3件 1件 1件	

3 受託事業

事業名	事業内容	令和5年度
1. 生活管理指導員等派遣事業	介護保険の要介護者及び要支援者に該当しない65歳以上の在宅の高齢者に対して、日常生活に対する指導と自立した生活を送るための援助を行い、要介護状態への進行を予防する。	実利用者 15人 延利用者 525人 派遣時間 延525時間
2. 視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業	重度の視覚障害者が社会生活を営む上で外出を必要とするとき、付添い者がなく、支障がある場合にガイドヘルパーを派遣する。	利用延人数 582人
3. 川越市ファミリー・サポート・センター事業	地域の中で育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人を会員として組織し、会員同士の育児に関する相互援助活動を行う。	登録者 452人 提供会員 1,137人 依頼会員 29人 両方会員 5,274件 派遣件数
4. 福祉サービス利用援助事業	高齢者、知的障害者、精神障害者などで判断能力が十分でない方に対して、福祉サービスの利用援助、日常生活上の手続援助、日常的金銭管理、書類等預かりサービスを行うことにより、地域で安心した生活が送れるようにするための事業を行っている。埼玉県社会福祉協議会からの受託事業である。	相談件数 利用者数 高齢認知症等 94件 9人 知的障害等 54件 14人 精神障害等 69件 20人 その他 32件 3人
5. 川越市障害者虐待防止対策支援事業	障害者虐待の防止、早期発見するための相談窓口を設け、関係機関とともに、その解決に努め、養護者等への支援を行う。	相談件数 延73件
6. 生活福祉資金貸付事業	低所得世帯、障害者世帯又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その世帯の安定した生活と経済的自立を図ることを目的とした貸付制度である。	生活福祉資金 25件 28,806,000円
7. 川越市介護支援いきいきポイント事業	川越市内在住の65歳以上の高齢者の方が、自身の介護予防を目的に、高齢者介護施設等において利用者への支援活動（ボランティア活動）を実施した場合、ポイントを付与する事業である。	事業登録者 506人 受入機関 117事業所 活動者 延2,499人
8. 生活支援体制整備推進事業	支援が必要な方の在宅生活を支えるため、地域住民を中心とした多様な事業主体（ボランティア・NPO法人・民間企業・社会福祉法人・協同組合等）による重層的な介護予防・生活支援サービスの提供体制づくりを推進するため、生活支援コーディネーターの配置及び協議体を設置し、支えあい・助け合いのある地域づくりを推進する。	生活支援 1層 1人 コーディネーター配置数 2層 9人
9. コミュニティソーシャルワーカー（CSW）	福祉問題に対して、要支援者の自立を目指すとともに、地域の中での自立を支えるための取組を中心となって行っていく。	配置数 22地区 出張相談窓口 5ヶ所
10. 川越市成年後見センター事業	川越市成年後見制度利用促進計画（令和3年3月策定）に基づく中核機関として、成年後見制度に関する市民や関係機関からの各種相談に応じ、支援を行う。また、成年後見制度の普及や担い手育成、地域連携ネットワークの構築等に取り組み、制度の利用促進を図る。	出前講座参加人数 延283人 一般相談 延562件 成年後見相談所での相談 31件 成年後見入門講座 延39人 成年後見応用講座 延59人 成年後見公開講座 延161人 フォローアップ研修 延20人 講座修了者への情報提供 延439人

4 指定管理者業務

事業名	事業内容	令和5年度
1. 老人福祉センター	西後楽会館の管理運営	西後楽会館年間利用者 26,090人
2. 総合福祉センター	総合福祉センター「オアシス」の管理運営 (1) 高齢者福祉センター事業 (2) 障害者福祉センター事業 (3) その他事業 (4) プール一般利用 (5) 体育室一般利用	年間延利用者数 30,891人 12,777人 367人 307人 349人

5 介護保険事業

事業名	事業内容	令和5年度
1. 通所介護事業	介護保険の要介護認定で、要介護状態又は要支援状態に認定された高齢者等に対し、通所サービスの提供を行う。	実利用者数 90人 延利用者数 4,428人

6 地域生活支援事業

事業名	事業内容	令和5年度
1. 地域活動支援センター事業	川越市地域活動支援センター事業の利用決定を受けた障害者に対して、創作的活動、社会適応訓練、機能訓練、レクリエーション、入浴サービス等の通所サービスを提供する。	実利用者 62人 延利用者 3,094人

公益社団法人 小江戸川越観光協会

1 概要

名称 公益社団法人小江戸川越観光協会

所在地 幸町4番地1 りそなコエドテラス中2階 (令和6年5月に移転)

設立年月日 平成16年3月19日

(川越市観光協会：昭和34年12月16日)

目的 川越市における観光産業の振興および地域の活性化に関する事業を行い、地域文化の向上、地域産業の発展に寄与する。

事業内容

- (1) 観光振興および観光客誘致事業
- (2) 他団体の実施する活動への支援および能力開発事業
- (3) 観光施設等の運営および受託事業
- (4) その他、公益目的を達成するために必要な事業

役員 理事19 (会長1、副会長4)、監事3 (令和6年7月1日時点)

職員 専務理事兼事務局長1、職員7、臨時職員9

2 会員数 (令和5年度)

正会員 474名、賛助会員 39名

3 主な事業実績 (令和5年度)

(1) 観光振興及び観光客誘致事業

① 協会ホームページの活用

内容	件数
ページビュー数(PV)	4,000,247
フォトライブラリー利用件数	63件

② 観光キャンペーン等の開催、参加、協賛 参加キャンペーン数 10件

③ 観光イベントの実施

イベント名	参加者数
小江戸夕涼み会 ～夏の終わりの夕涼み～	1,000人
食と音と灯りの融合 Kawagoe REMIX	2,600人
あかり灯る大人な夜散歩～川越城本丸御殿をライトアップ～	800人
小江戸川越春の舟遊	1,500人 (乗舟者263人)
第33回小江戸川越春まつりオープニングイベント	42,000人

(2) 他団体の実施する活動への支援及び能力開発事業

① 他団体への支援活動事業

内容	事業数
助成による支援	10 事業
後援等による支援	62 事業

② 能力開発事業

小江戸川越ブランド産品事業の推進

認定商品数：53 商品

(3) 観光施設等の運営及び受託事業

① 観光施設等維持管理事業 仙波東照宮公開による観覧者数：20,214 人

公益社団法人 川越市シルバー人材センター

シルバー人材センターは、高齢化社会の急速な進展に対応するため、原則60歳以上の者で、健康で働く意欲のある市民を会員とした公益性・公共性の高い団体である。そのため、高齢者の体力・能力に応じた仕事で、その技能・経験を生かせる場を提供し、高齢者の就業を通じて福祉の増進を図りながら、自主的に運営する団体である。

就業は発注者からセンターが請負った仕事に会員が従事する。会員の就業に対する対価は、請負金額に基づいてセンターを通じ、配分金として支払われる仕組みになっている。また、一般労働者派遣事業や有料職業紹介事業なども行っている。

1 年度別事業実績

区分 年度	会員数A (人)			受注件数 (件)				就業人員 (人)		契 約 金 額 (円)				就業率 B/A (%)
	男	女	計	公共	民間	個人	計	実人員B	延人員	配 分 金	事務費	材料費	計	
令和3年度	1,568	638	2,206	183	469	1,376	2,028	1,694	194,607	710,283,799	58,143,060	30,899,293	799,326,152	76.8
令和4年度	1,493	655	2,148	204	470	1,424	2,098	1,726	198,685	755,856,559	68,972,421	37,293,080	862,122,060	80.4
令和5年度	1,522	674	2,196	198	449	1,454	2,101	1,657	187,181	735,764,845	83,642,093	35,155,599	854,562,537	75.5

2 契約額の内訳

区分 年度	公 共 機 関		民 間		個 人		合 計	
	金額 (円)	割合 (%)	金額 (円)	割合 (%)	金額 (円)	割合 (%)	金額 (円)	割合 (%)
令和3年度	365,829,616	45.8	381,367,054	47.7	52,129,482	6.5	799,326,152	100.0
令和4年度	417,831,234	48.4	392,829,197	45.6	51,461,629	6.0	862,122,260	100.0
令和5年度	427,549,428	50.0	375,091,827	43.9	51,921,282	6.1	854,562,537	100.0

3 令和5年度 職業分類別実績表

職業分類名	受託件数 (件)	延日人員 (人)	契約金額(円)			
			配 分 金	材料費等	事 務 費	計
専門的・技術的職業	6	816	2,028,743	263,506	232,860	2,525,109
事務的職業	113	7,067	34,658,264	184,554	3,933,888	38,776,706
サービスの職業	445	61,256	289,924,940	20,838,001	35,476,580	346,239,521
保安の職業	15	3,974	13,240,803	397	1,349,159	14,590,359
農林漁業の職業	835	9,522	36,563,583	3,343,952	4,522,278	44,429,813
生産工程の職業	230	3,014	9,318,142	2,039,701	1,083,702	12,441,545
建設・採掘の職業	1	385	2,279,970	139	273,596	2,553,705
運搬・清掃・包装等の職業	456	101,147	347,750,400	8,485,349	36,770,030	393,005,779
合 計	2,101	187,181	735,764,845	35,155,599	83,642,093	854,562,537

公益財団法人 川越市勤労者福祉サービスセンター

川越市勤労者福祉サービスセンターは、中小企業における企業内福利厚生の実施のために平成2年に設立した財団法人で、平成24年4月に公益財団法人へ移行した。

勤労者福祉サービスセンターは、市内中小企業勤労者1人につき月額500円の会費により、事業主及び従業員に生活の安定、健康の維持増進、余暇・自己啓発、老後生活の安定等にわたる総合的な福祉事業を相互扶助により実施している。

また、平成22年4月に川越市中高年齢労働者福祉センター（サンライフ川越）及び川越市芳野台体育館の運営管理を行う財団法人川越労働福祉協会と合併し、勤労者の教養文化・創作活動、健康スポーツ活動等を支援する教室の開催、自主活動、各種サークルの養成を行っている。

なお、川越市中高年齢労働者福祉センター（サンライフ川越）は、中高年齢労働者の雇用促進と福祉の向上を図ることを目的として、昭和60年に雇用促進事業団により設置された施設である。（平成15年に川越市が施設を売買により取得している。）

理事9名の理事会、評議員7名の評議員会、監事2名及び事務局職員6名（うち1名常務理事兼務）で運営している。

1 会員数の推移

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業所数（事業所）	185	173	172
会 員 数（人）	1,111	1,005	1,009

2 令和5年度の主な事業実績

給付事業

共 済 事 由	支給件数
弔慰金（本人又は家族の死亡弔慰金）	45 件
見舞金（傷病、住宅災害等の見舞金）	14 件
祝 金（結婚、出生、永年勤続等の祝金）	148 件

健康の維持増進事業

事 業 名	利用状況
人間ドック利用補助	71 人
インフルエンザ予防接種補助	201 人

余暇に関する事業

事 業 名	利用状況
宿泊施設利用補助	110 人
催し事業（芋掘り等）	248 人
観劇チケット等補助・斡旋	9,297 枚

退職金共済団体としての事業

事 業 名	加入者
パートタイマー退職金共済	22 人

川越総合卸売市場 株式会社

卸売市場法による埼玉県卸売市場整備計画に基づき、県南西部9市町流通圏域に生鮮食料品等の安定的供給を図るため、整備したものである。昭和56年5月に川越地区卸売市場整備促進協議会（11市町村長、4青果業界、業界代表等）が設立され、以降開設準備を進めて、平成6年5月に営業を開始した。

当市場は、周辺に国道16号、県道川越越生線が走り、関越自動車道川越インター及び圏央道狭山日高インターに近く、極めて交通至便な環境にある。

1 市場の概要

市場名 埼玉川越総合地方卸売市場

所在地 大字大袋650番地

敷地面積 198,000㎡

総事業費 約180億円

取扱品目 青果物・水産物・関連商品

開設者 川越総合卸売市場株式会社

代表取締役社長 福田 忠博（令和3年6月19日就任）

開設年月日 平成6年5月30日

開設会社の構成（令和6年4月1日現在）

行政 川越市、狭山市、坂戸市、飯能市、鶴ヶ島市、ふじみ野市、日高市、毛呂山町、越生町
業 界 東京新宿ベジフル株式会社、株式会社埼玉県魚市場、株式会社埼玉りそな銀行、
いるま野農業協同組合

資本金及び構成（令和6年4月1日現在）

資本金 1億円

構成 行政 98.3%

業界 1.7%

入場業者（令和6年4月1日現在）

ア 卸売業者 青果部 東京新宿ベジフル株式会社

水産物部 株式会社埼玉県魚市場

イ 仲卸業者 青果部 4業者（9店舗）

水産物部 9業者（25店舗）

ウ 関連事業者 23業者（39店舗）

エ その他 1業者（1店舗）

2 開設会社の施設概要

	施設名		面積 (㎡)	備考
主棟	卸売場	青果	3,300	1階
		水産	2,200	1階
	仲卸売場	青果	1,730	1階、2階
		水産	3,110	1階、2階
関連店舗			6,555	1階、2階
棟	開設会社事務所		3,144	3階
	青果卸事務所			
	水産卸事務所			
附属棟	青果配送センター		1,248	
	水産配送センター		568	
	青果保冷库		432	
	バナナ発酵所			
	青果倉庫		342	
	水産冷蔵庫		2,547	
	食堂		324	
	守衛所		20	3棟合計
	ごみ集積庫		55	
	発泡スチロールリサイクルセンター		133	
野外便所		115		
受水槽				
駐車場			30,437	(1,200台)
調整池			18,000	

3 卸売業者の取扱高推移

年度	青果物		水産物		合計	
	数量 (kg)	金額 (円)	数量 (kg)	金額 (円)	数量 (kg)	金額 (円)
令和3年度	18,203,278	3,696,344,463	1,208,473	1,293,587,327	19,411,751	4,989,931,790
令和4年度	16,661,646	3,485,136,113	1,857,733	1,881,793,444	18,519,379	5,366,929,557
令和5年度	14,477,015	3,279,226,467	1,544,187	1,666,404,328	16,021,202	4,945,630,795

※ 消費税及び地方消費税は除く。

※ 合計は端数処理後に計算

4 買受人市町村別一覧表

(令和6年4月1日現在)

	市町村名	件数
青 果	仲卸業者	4
	川越市	30
	狭山市	8
	坂戸市	6
	飯能市	7
	鶴ヶ島市	3
	日高市	3
	毛呂山町	2
	越生町	1
	その他	63
	小計	127
水産	仲卸業者	9
	川越市	3
	坂戸市	1
	その他	9
	小計	22
	合計	149

5 青果・水産物出荷業者都道府県別一覧表

(令和6年4月1日現在)

都道府県	青果物	水産物	都道府県	青果物	水産物
北海道	2	25	滋賀県	0	1
青森県	1	15	京都府	2	0
岩手県	0	8	大阪府	1	3
宮城県	1	44	兵庫県	1	10
秋田県	1	3	奈良県	0	0
山形県	0	0	和歌山県	7	0
福島県	4	9	鳥取県	0	8
茨城県	13	18	島根県	0	4
栃木県	1	2	岡山県	0	0
群馬県	8	3	広島県	1	7
埼玉県	168	37	山口県	0	12
千葉県	6	46	徳島県	0	1
東京都	20	109	香川県	0	1
神奈川県	1	12	愛媛県	1	7
新潟県	4	7	高知県	1	1
富山県	0	4	福岡県	1	6
石川県	0	3	佐賀県	0	3
福井県	0	3	長崎県	1	2
山梨県	2	1	熊本県	1	3
長野県	0	0	大分県	0	2
岐阜県	1	4	宮崎県	0	0
静岡県	0	40	鹿児島県	2	5
愛知県	4	9	沖縄県	0	0
三重県	0	6	合計	256	484

川越都市開発 株式会社

1 会社の概要

会社名	川越都市開発株式会社		
所在地	協田町 105 番地		
設立年月日	昭和 62 年 10 月 31 日		
出資者	○川越市	○株式会社丸広百貨店	
	○東武鉄道株式会社	○武州ガス株式会社	
	○株式会社埼玉りそな銀行	○株式会社みずほ銀行	
	○株式会社三井住友銀行	○野村ホールディングス株式会社	
	○川越商工会議所	○権利者等 31 名	
	損害保険ジャパン株式会社	三井住友海上火災保険株式会社	
	株式会社佐藤総合計画		

○印は発起人

2 主な事業内容

- ① 市街地再開発事業により建築された建築物アトレビルの管理及び運営
- ② 土地、建物並びに付帯設備の売買、賃貸借、仲介及び管理業務
- ③ 店舗の販売促進に関する企画、調査、研究及び指導
- ④ 川越市が設置する公共施設の管理、運営に関する受託業務